



# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立越谷南高等学校 】

1 実践テーマ	I・II・ <b>III</b> ・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	対象学年：1 学年（講演会） 1 年8組（講演会+体験会） 対象人数：講演会358名、体験会40名
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（パラリンピックによる教育講演会とスポーツ体験会） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	<教育講演会> パラリンピアンによる講演を通じて共生社会に対する人権感覚を養うとともに、アスリートのメンタリティと目標達成のためのアプローチの実際を学ぶ。 <スポーツ体験会> ブラインドサッカー体験を通して視覚障害者の視点や感覚を疑似体験し、共生社会について考えを深める。
5 取組内容	<教育講演会> 実施日：令和2年11月12日（木）5限（50分） 対象：1 学年358名 講師：加藤 健人（かとう けん）選手 ブラインドサッカー日本代表 演題：「普通ってなあに？」  <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

<スポーツ体験会>

実施日：令和2年11月12日（木）6限（50分）

対象：1年8組 40名

講師：加藤 健人（かとう けん）選手  
ブラインドサッカー日本代表

内容：ブラインドサッカー体験



ブラインドサッカー日本代表のパラリンピアンを講師に招き、障害について考えた。また、講演会後は1クラス（40名）を対象にブラインドサッカー体験を通して視覚障害者の疑似体験や残された能力を使ってスポーツに真摯に取り組むパラアスリートの凄さやメンタリティを学んだ。

6 主な成果

スポーツを通じたインクルーシブ教育という新たな視点での教育講演会を実施することができた。講演については全校生徒に聞かせたかったが、新型コロナウイルス感染防止対策が必要なことから1学年のみとなってしまった。また、ブラインドサッカー体験も同様の理由から限られた人数しか体験できなかったが、参加した生徒からは、「パラスポーツの魅力を実感できた」、「アスリートの能力に本当に驚いた」などの感想が聞かれた。

本事業を通して、スポーツの価値や魅力の発信、アスリートのメンタリティ、人権感覚の醸成など、1度に複数の視点を学ぶことができる機会を生徒に与えることができた。

<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>アスリートの選定、実施方法、実施までのスケジュールリング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に今年度はコロナ禍での実施であったため、実施方法の変更や講師との調整に苦労した。</li> <li>・アスリートの選定については、県福祉部障害者福祉推進課が主催する「埼玉パラドリームアスリートによる体験型講演会」事業を利用した。</li> <li>・日程、内容等の調整についても担当課職員を通じて行った。</li> </ul>
<p>8主な課題等</p>	<p>しばらくはコロナ禍での実施となることが予想されることから感染防止対策との兼ね合いで、講演会やスポーツ体験会が思うようにできないことが考えられる。また、緊急に中止や延期を迫られることも考えられるため、事前に講師と確認しておく必要があると思われる。本年度は、天候に影響なく実施できる屋内競技を講師として選考したが、屋外競技を選考する場合は代替案等の検討も事前にしておく必要があると思われる。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>来年度以降も可能な限り、応募させていただきたいと考えている。オリパラ教育は、単にスポーツの価値や魅力を考えさせるだけでなく、男女平等、共生社会、ジェンダーなど様々な社会課題を考える良いきっかけになると感じている。また、「総合的な探求の時間」をはじめ、教科・科目との連携も視野に入れて考えたい。</p>